

## 令和3年度社員総会 開催挨拶

一般社団法人室蘭工業大学同窓会  
会長 西尾 吉博

本日はお忙しい中、室蘭工業大学・同窓会の社員総会にご参加いただき、誠にありがとうございます。開発工学科・昭和49年卒、同窓会会長の西尾でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

コロナ禍によりまして、昨年は旭川会場での総会が予定されていましたが、書面会議となり、そして今年の大阪会場での社員総会も現地開催が叶わず、やむなくリモート開催とさせていただきます。

さて、新型コロナの国内感染者1例目は、昨年・令和2年1月14日に神奈川で発生しました。そして本日でちょうど500日です。1年4ヶ月余りとなります。しかし、猛威は衰えず、現在、第4波が押し寄せ、10都道府県に発出されている緊急事態宣言も6月20日まで延長されており、個人的にはオリンピック・パラリンピックどころではないと思っています。

ワクチン接種も混乱の中、始まってはいますが、後ろ倒しとなっており、1日でも早く、全国民に行き渡り、コロナが終息することを願うところでもあります。このコロナ禍の中、医療・介護従事者の皆様には頭の下がる思いであり、心より感謝をいたしたいと存じます。

また、ありとあらゆる業界の皆様が多大な影響を受けていること、そして、何といたっても学生が学業・生活両面で苦戦していることに対して、同窓会として出来ること、やるべきことを考えて行きたいと思えます。

その一つとして、経済的に困窮する学生支援のため、寄付金があります。令和2年度、同窓会として1千万円、その他各支部からのものを併せて総額12,475,000円を、また会員の皆様から通常寄附308件・2,276,000円のほかにコロナ関連として270件・4,178,000円の寄付金をお寄せいただきました。令和3年度も引き続き募集しています。どうぞ皆様、困窮する学生のために寄付金を宜しくお願い致します。

さて、同窓会の運営についても大きく変わります。この会もそうですが、本部・支部における総会・理事会・委員会等すべてがいわゆるニューノーマル・リモート会議が基本になっていきます。

Web会議システムの統一、通信環境の整備、予算化などは喫緊の課題となります。これらが統一されれば、同窓会の本部・28支部の強力なネットワークが出来上がり、相互の良好なコミュニケーション強化が期待できます。

大学にとって今年度、第3期中期計画の6年目・最終年度を迎え、第3期の仕上げと、来年度からの第4期に向けて、大変重要な年となっております。大学としては、「確かな研究力」に基づいた「地域の発展に貢献する大学づくり」が最も重要であるとも云われています。

しかし、研究のためにはお金が必要です。大学と会員のいる企業・自治体との共同研究・包括連携などを通して、同窓会として何か継続して協力して行くことができないか。そのように考えていますので、皆様、どうか宜しく願いいたします。

室蘭工業大学並びに同窓会の発展と、本日ご参加の皆様のご健勝・ご活躍を、併せて、学生の皆様の健康と健闘を、そして、コロナが終息して、来年こそは、この同窓会総会が、リアルで開催できることをご祈念申し上げてご挨拶いたします。ありがとうございました。

以上